

郵
 郵便局で
 郵便切手を
 買いました



②-118

拝
 礼拝堂
 心静かに
 神を拝む



②-117

補
 無くなった
 分を補うのが
 「補給」



②-116

暖
 暖冬で暖かく
 雪も少ない
 今年の冬



②-115

郵
 郵便局で
 郵便切手を
 買いました



②-118

拝
 礼拝堂
 心静かに
 神を拝む



②-117

補
 無くなった
 分を補うのが
 「補給」



②-116

暖
 暖冬で暖かく
 雪も少ない
 今年の冬

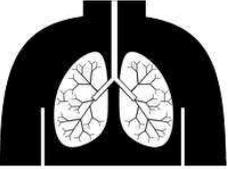


②-115

「肺臓」

呼吸をするところが

胸の肺

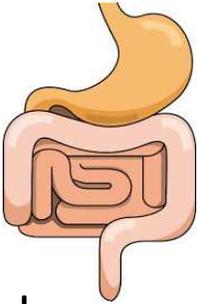


②-122

十二指腸

大腸・小腸・

腹の中腸



②-121

胃薬だ

ああ胃が痛い

食べ過ぎて

胃



②-120

「仁」という

思いやりの心を

「医は仁術」

仁

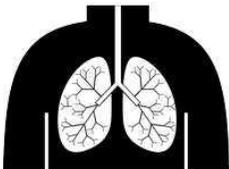


②-119

「肺臓」

呼吸をするところが

胸の肺

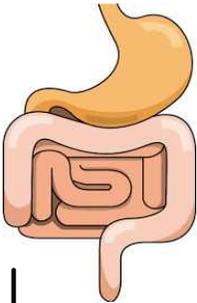


②-122

十二指腸

大腸・小腸・

腹の中腸



②-121

胃薬だ

ああ胃が痛い

食べ過ぎて

胃



②-120

「仁」という

思いやりの心を

「医は仁術」

仁



②-119

暮
 日ひが暮くれて
 辺あたりは
 暮ぼ色しよくに包つつまれた
 ② - 1 2 6



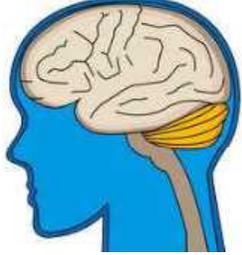
至
 難むずかしいことを
 「至し難なんの技わざ」
 という
 至いたって
 ② - 1 2 5



姿
 晴はれ姿すがた
 良よい姿し勢せいで
 写しゃ真しんを撮とろう
 ② - 1 2 4



脳
 大だい脳のうと
 小しょう脳のうから
 できている脳のう
 ② - 1 2 3



暮
 日ひが暮くれて
 辺あたりは
 暮ぼ色しよくに包つつまれた
 ② - 1 2 6



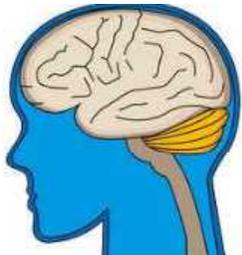
至
 難むずかしいことを
 「至し難なんの技わざ」
 という
 至いたって
 ② - 1 2 5



姿
 晴はれ姿すがた
 良よい姿し勢せいで
 写しゃ真しんを撮とろう
 ② - 1 2 4



脳
 大だい脳のうと
 小しょう脳のうから
 できている脳のう
 ② - 1 2 3



革 動物の革で
作った
皮革製品



② - 130

垂 水が垂れる
垂線を描く
ように



ポタリポタリと

② - 129

幕 張った中に
将軍がいた
ので「幕府」



戦場で幕を

② - 128

奏 楽器を奏で
交響曲を
演奏する



② - 127

革 動物の革で
作った
皮革製品



② - 130

垂 水が垂れる
垂線を描く
ように



ポタリポタリと

② - 129

幕 張った中に
将軍がいた
ので「幕府」



戦場で幕を

② - 128

奏 楽器を奏で
交響曲を
演奏する



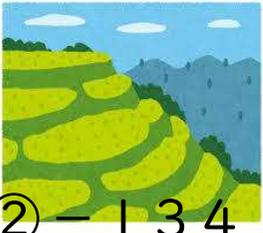
② - 127

段 山の斜面

階段のように

耕す

段々畑



② - 1 3 4

困 貧困で

困っている人々を

助けたマザーテレサ



② - 1 3 3

承 「その件、確かに

承りました。」と

承諾した



② - 1 3 2

批 作品の

できばえを

批評する審査員



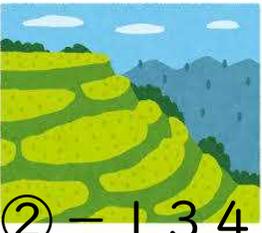
② - 1 3 1

段 山の斜面を

階段のように

耕す

段々畑



② - 1 3 4

困 貧困で

困っている人々を

助けたマザーテレサ



② - 1 3 3

承 「その件、確かに

承りました。」と

承諾した



② - 1 3 2

批 作品の

できばえを

批評する審査員



② - 1 3 1

裏うら面めんといいう
 裏うら側がわを
 表おもてと裏うら

裏



② - 138

完かん済さいだ
 全ぜん部ぶ済すんだ
 返へん済さいが

済 借しゃ金きんの



② - 137

認みめて許ゆるすこと
 願ねがいを
 「認にん可か」とは

認



② - 136

「善ぜんは急いそげ」
 進すすんでやろう
 善よいことは

善



② - 135

裏うら面めんといいう
 裏うら側がわを
 表おもてと裏うら

裏



② - 138

完かん済さいだ
 全ぜん部ぶ済すんだ
 返へん済さいが

済 借しゃ金きんの



② - 137

認みめて許ゆるすこと
 願ねがいを
 「認にん可か」とは

認



② - 136

「善ぜんは急いそげ」
 進すすんでやろう
 善よいことは

善



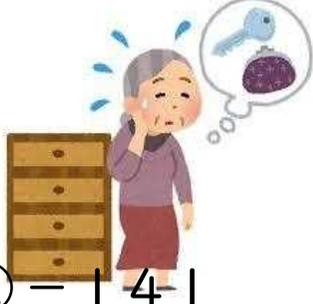
② - 135

勤 会社に勤める
お父さん
毎日電車で通勤する



② - 142

忘 忘却とは
忘れ去る
ことだ



② - 141

預 預けたお金
預金通帳から
引き出した



② - 140

胸 胸の周りの
長さを測る
胸囲測定



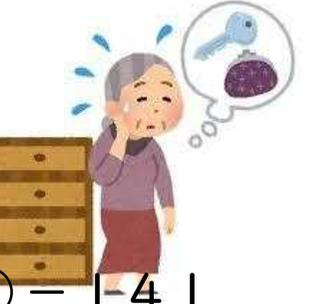
② - 139

勤 会社に勤める
お父さん
毎日電車で通勤する



② - 142

忘 忘却とは
忘れ去る
ことだ



② - 141

預 預けたお金
預金通帳から
引き出した



② - 140

胸 胸の周りの
長さを測る
胸囲測定



② - 139

盟

日英同盟を結び
ロシアと
戦った日本




② - 1 4 6

座

座布団に
正座で
座る



② - 1 4 5

窓

車窓から
眺める
窓の外の景色



② - 1 4 4

裁

争いを
裁くことが
「裁判」

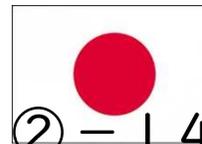
訴えや



② - 1 4 3

盟

日英同盟を結び
ロシアと
戦った日本




② - 1 4 6

座

座布団に
正座で
座る



② - 1 4 5

窓

車窓から
眺める
窓の外の景色



② - 1 4 4

裁

争いを
裁くことが
「裁判」

訴えや



② - 1 4 3

派 裏千家 表千家や
茶道に
いろいろな流派あり



② - 150

頂 山の頂を
「山頂」という



② - 149

寸 一寸は
約三センチ
寸は「ほんの少しの」
という意味もある



② - 148

否 「君が悪い！」
と聞くと「いや否や
「違う！」と
僕は否定した



② - 147

派 裏千家 表千家や
茶道に
いろいろな流派あり



② - 150

頂 山の頂を
「山頂」という



② - 149

寸 一寸は
約三センチ
寸は「ほんの少しの」
という意味もある



② - 148

否 「君が悪い！」
と聞くと「いや否や
「違う！」と
僕は否定した



② - 147

乱 らん 雑 ざつ な

使 つか い 方 かた を し て

部 へ 屋 や が 乱 みだ れ る



② - 154

冊 さつ

一 いっ 冊 さつ ・ 二 に 冊 さつ ・

「冊」は

「書物・本」のこと



② - 153

泉 いずみ

水 みず の 湧 わ き 出 で る

と ち ろ が 泉 いずみ

そ の 水 みず が

熱 あつ い と 温 おん 泉 せん



② - 152

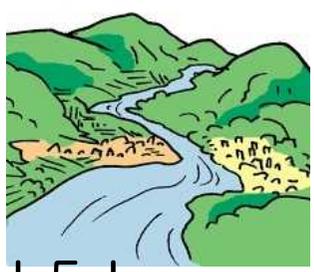
源 みなもと

流 なが れ 出 で る

水 みず の

源 みなもと を

源 げん 流 りゅう と い う



② - 151

乱 らん 雑 ざつ な

使 つか い 方 かた を し て

部 へ 屋 や が 乱 みだ れ る



② - 154

冊 さつ

一 いっ 冊 さつ ・ 二 に 冊 さつ ・

「冊」は

「書物・本」のこと



② - 153

泉 いずみ

水 みず の 湧 わ き 出 で る

と ち ろ が 泉 いずみ

そ の 水 みず が

熱 あつ い と 温 おん 泉 せん



② - 152

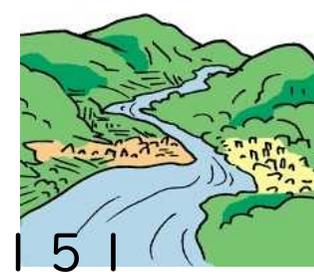
源 みなもと

流 なが れ 出 で る

水 みず の

源 みなもと を

源 げん 流 りゅう と い う



② - 151

紅べにいろ色に
もみじの葉はっぱが

紅葉こうよう



③ - 158

疑うたがわしくて
「それ、本当ほんとう？」

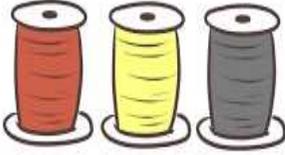
半信半疑はんしんはんぎだ



② - 157

染せんしよく色とは
布ぬのや糸いとを

染めること



② - 156

従じゆうじゆん順に
指示しじに従したがう

かわいい愛犬あいけん



② - 155

紅べにいろ色に
もみじの葉はっぱが

紅葉こうよう



③ - 158

疑うたがわしくて
「それ、本当ほんとう？」

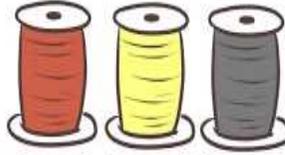
半信半疑はんしんはんぎだ



② - 157

染せんしよく色とは
布ぬのや糸いとを

染めること



② - 156

従じゆうじゆん順に
指示しじに従したがう

かわいい愛犬あいけん



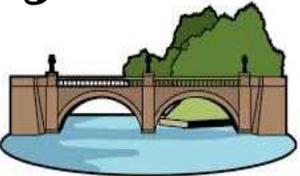
② - 155

后 天皇の
お后様が
皇后陛下



③ - 162

皇 天皇が
住んでおられる
皇居



③ - 161

陛 皇太子に
位を譲られた
天皇陛下



③ - 160

降 電車を
降りたら
雨が降っていた



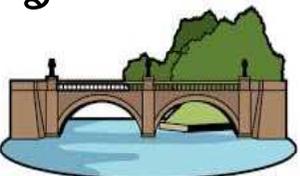
③ - 159

后 天皇の
お后様が
皇后陛下



③ - 162

皇 天皇が
住んでおられる
皇居



③ - 161

陛 皇太子に
位を譲られた
天皇陛下



③ - 160

降 電車を
降りたら
雨が降っていた



③ - 159

「諸」は 諸国・諸島

「多くの」

という意味



③ - 166

「衣替え」

夏の装いにする

服装を



③ - 165

「探偵」

手がかり探って

事件を解決



③ - 164

「俳句」

五七五の

短い詩



③ - 163

「諸」は 諸国・諸島

「多くの」

という意味



③ - 166

「衣替え」

夏の装いにする

服装を



③ - 165

「探偵」

手がかり探って

事件を解決



③ - 164

「俳句」

五七五の

短い詩



③ - 163

将 王将を
取り合う
ゲームが
「将棋」です



③ - 170

衆 大勢の
観衆が
見守る中
ゴールイン



③ - 169

干 干拓
潮干狩り
「干」は「干す」
乾かす「こと」



③ - 168

孝 親孝行
したい時には
親は無し



③ - 167

将 王将を
取り合う
ゲームが
「将棋」です



③ - 170

衆 大勢の
観衆が
見守る中
ゴールイン



③ - 169

干 干拓
潮干狩り
「干」は「干す」
乾かす「こと」



③ - 168

孝 親孝行
したい時
には親は無し



③ - 167

捨

四以下は捨て
五以上は切り上げる

から四捨五入

32,718人
↓ 四捨五入
30,000人

③ - 174

射

射程距離に
入った獲物を
矢で射る



③ - 173

専

専ら
女性だけが乗る
女性専用の車両だ



③ - 172

枚

五枚ずつ
同じ枚数
トランプ配る



③ - 171

捨

四以下は捨て
五以上は切り上げる

から四捨五入

32,718人
↓ 四捨五入
30,000人

③ - 174

射

射程距離に
入った獲物を
矢で射る



③ - 173

専

専ら
女性だけが乗る
女性専用の車両だ



③ - 172

枚

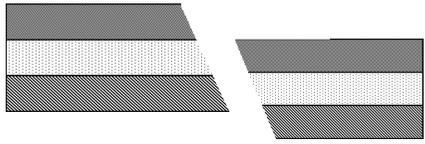
五枚ずつ
同じ枚数
トランプ配る



③ - 171

断層になる
地震で崩れ
地層が

層



③ - 178

「次の」という意味だ
「翌」は
翌日・翌週

翌



③ - 177

「就職」という
ことを
職に就く

就



③ - 176

「浴」は
浴道・浴岸
流れに浴うこと

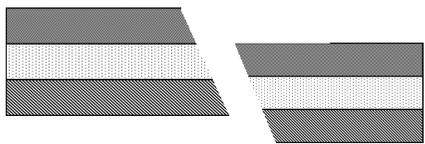
浴



③ - 175

断層になる
地震で崩れ
地層が

層



③ - 178

「次の」という意味だ
「翌」は
翌日・翌週

翌



③ - 177

「就職」という
ことを
職に就く

就



③ - 176

「浴」は
浴道・浴岸
流れに浴うこと

浴



③ - 175

晩
朝あさから晩ばんまで
研究けんきゅうに没頭もつとうする
科学者かがくしや



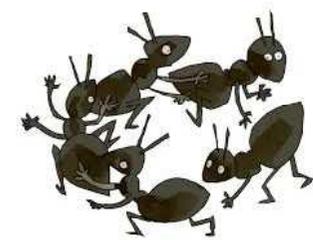
③ - 182

除
「除じよ」は
除雪じよせつ・除草じよそう
取り除とのぞく
という意味いみだ



③ - 181

糖
甘いあま砂糖さとうに
群むらがる
アリの群れむれ



③ - 180

舌
舌したがよく
回まわることを
滑舌かつぜつが良いよという



③ - 179

晩
朝あさから晩ばんまで
研究けんきゅうに没頭もつとうする
科学者かがくしや



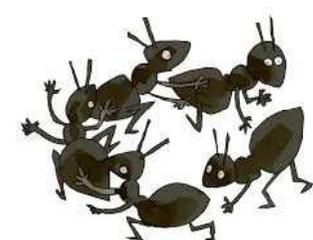
③ - 182

除
「除じよ」は
除雪じよせつ・除草じよそう
取り除とのぞく
という意味いみ



③ - 181

糖
甘いあま砂糖さとうに
群むらがる
アリの群れむれ



③ - 180

舌
舌したがよく
回まわることを
滑舌かつぜつが良いよという



③ - 179

聖

オリンピックの
聖火リレー



③ - 186

俵

「俵」とは
わらで編んだ
米の袋 一俵
二俵と数える



③ - 185

操

コントロールを
巧みに操り
ドローンを
操縦



③ - 184

私

「私」は「私」
・個人の
という意味



③ - 183

聖

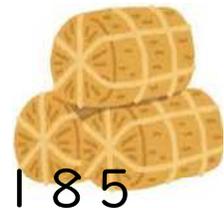
オリンピックの
聖火リレー



③ - 186

俵

「俵」とは
わらで編んだ
米の袋 一俵
二俵と数える



③ - 185

操

コントロールを
巧みに操り、
ドローンを
操縦



③ - 184

私

「私」は、「私」
・個人の
という意味



③ - 183

世話を^{せわ}する^し看護師^{かんごし}

手^て当^あて^や

病^{びょう}人^{にん}の

看



③ - 190

机^{つくえ}の上^{うえ}を

机^き上^{じょう}と^{いう}

机



③ - 189

事^{こと}

打^うち^かつ

「己^{おのれ}（自^じ分^{ぶん}）に

己

「克^{こっ}己^き」と^は



③ - 188

「我^{われ}を^が通^{とお}す」

「我^{われ}」は

「自^じ分^{ぶん}」と^{いう}意^い味^みだ

我

「我^{われ}を^{わす}れ^る」



③ - 187

世話を^{せわ}する^し看護師^{かんごし}

手^て当^あて^や

病^{びょう}人^{にん}の

看



③ - 190

机^{つくえ}の上^{うえ}を

机^き上^{じょう}と^{いう}

机



③ - 189

事^{こと}

打^うち^かつ

「己^{おのれ}（自^じ分^{ぶん}）に

己

「克^{こっ}己^き」と^は



③ - 188

「我^{われ}を^が通^{とお}す」

「我^{われ}」は

「自^じ分^{ぶん}」と^{いう}意^い味^みだ

我

「我^{われ}を^{わす}れ^る」



③ - 187

覧

展覧会・観覧車

「覧」は

「見回す」

眺める「こと」



③ - 191

覧

展覧会・観覧車

「覧」は

「見回す」

眺める「こと」



③ - 191